



2024年4月19日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
代表者名 代表取締役社長 萩原 義久
(コード：6666 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員総務本部長 天野 伸幸
(TEL. 0551-22-1211)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と中長期的な企業価値向上を目指すため、東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価（第1回目）を実施しましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

1. 実効性評価の方法（自己評価）

2024年2月に全取締役（6名）及び全監査役（3名）に対し、匿名でアンケートを実施しました。この結果に基づき、取締役会において意見交換を行い、取締役会の実効性に関する分析及び検証を行い、今後の課題等について建設的な議論を行いました。

【アンケート項目（大項目）】

- ① 取締役会の構成
- ② 取締役会の運営状況
- ③ 取締役会の審議
- ④ 取締役会の役割・責務
- ⑤ 取締役・監査役自身の職務執行
- ⑥ 報酬委員会
- ⑦ 指名委員会
- ⑧ 取締役会を支える体制
- ⑨ フリーコメント

※回答は5段階評価で行われており、また、各設問に自由記入欄を設け、多様な意見や提言を吸い上げられるようにしています。

2. 実効性評価の結果の概要

当社取締役会は、自由闊達で建設的な議論を行う雰囲気が醸成されており、社内・社外等の区別なく積極的な議論が行われるなど、取締役会全体の実効性については、概ね適切に確保されていることを確認いたしました。

他方、検討課題として以下の意見が挙げられました。

- ・ 取締役会のスキルバランスやジェンダー、国際性等の多様性の確保について検討していく必要がある
- ・ 取締役会付議事項の見直しを行い、業務執行側に権限委譲を行うことにより、業務執行報告及び中長期的課題について意見交換・議論する機会を増加させるべき
- ・ 中期経営計画やサステナビリティに係る議論の充実が必要
- ・ 役員報酬制度が経営陣のインセンティブとして適切に機能しているかの検証が必要
- ・ 後継者育成計画や取締役の選解任についての議論・検討が必要

3. 実効性評価の結果を踏まえた今後の対応

当社取締役会は、今回の実効性評価の結果を踏まえ、「2. 実効性評価の結果の概要」にある検討課題への対応を重点的に行うことにより当社取締役会の実効性の向上に努め、更なる企業価値向上を目指してまいります。

以 上